



大町の家

東京から移住されたクライアントSさんが暮らす2.7坪の平屋の住まいです。

西側に田園風景、正面に雄大な北アルプスが眺望できる西下がりの敷地です。

そんな環境の中でクライアントが望んだのは・・・『西側に広がる北アルプスを眺めながら、余分な事を考えずゆったりと暮らせる家』

リビングを中心に、南側にキッチンとダイニング、北側に和室(茶室)と寝室・クローゼット、東側にリビングから直接使えるパウダールームと浴室、西側に雄大な景色を見る為の少し贅沢な半屋外デッキ、リビングと半屋外デッキは引込障子と引込アルミサッシで仕切られ、建具の開閉でいろいろな使い方が可能です。

西側に傾斜する敷地に馴染む様に建物の『かたち』を考え、外観は西から東に下がる片流れの平屋で外壁は杉板を黒く塗っています。

暖房はヒートポンプ熱源の温水床暖房を採用しています。

設計工房 悠

懐かしさをも感じられる家づくり

百瀬 満・万里子
安曇野市三郷明盛1-4-64-5
www.s-you.jp
momose@tea.ocn.ne.jp

